

はじめに

歴史資料館館報第8号をお届けいたします。

2004年度も、同志社大学の施設新設に伴う発掘調査が相次ぎました。4月から9月にかけての新町キャンパスの臨光館地点の発掘調査では室町から江戸時代にかけての遺構・遺物が発見され、特に洛中洛外図に描かれた頃の「桜の御所」と呼ばれていた近衛家の邸宅跡の大きな手がかりを得ることができました。7月10日に現地説明会を行いました。現在報告に向けて研究を進めております。また同様にそれぞれ限られた時間に追われながらではありますが、岩倉校地の同志社小学校予定地、梨木神社北側の北志寮地点の発掘調査に加えて、大津市のボート部艇庫増築に伴う立ち会い調査も行いました。

歴史資料館のホームページは年々アクセス数が増えて、2004年度だけで36万件を超えました。展示資料、所蔵書籍・資料などのデータのほか、発掘調査の概報、現地説明会の資料などをご利用いただいています。これからも随時更新して最新のデータをお届けできるよう務めてまいります。

2005年3月には、当館スタッフも加わった博物館検討委員会が「同志社博物館（仮称）の設置について」という答申を提出し、長年の課題である博物館実現への一歩を踏み出しました。もとより当館はすでに博物館法に基づく博物館相当施設の指定を受けていますが、さらに「総合的・学際的な研究・教育体制を整備する」ための本格的なミュージアムへと展開する必要があると考えております。特に同志社は多くの埋蔵文化財包蔵地を抱える立地条件にあるため、将来の博物館においても現行の当館の従事している研究教育活動が非常に重要な柱とならねばなりません。また、京都府南山城地区にミュージアム施設が手薄な現在、地域連携型の研究教育の拠点としても同志社博物館への期待が高まっていると存じます。

なお、2004年9月に若林邦彦専任講師が着任し、2005年4月に鋤柄俊夫助教授が新設の文化情報学部に移籍いたしました。

今後とも当館の活動にご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2005年9月30日

同志社大学歴史資料館
館長 工藤和男

目 次

はじめに

歴史資料館館長 工藤和男

I 歴史資料館の運営

1. 2004年度の運営

| | |
|--------------|----|
| (1) 組織 | i |
| (2) 運営委員会委員 | i |
| (3) 運営委員会の開催 | i |
| (4) 学芸関係の事業 | ii |
| (5) 校地学術調査 | iv |
| (6) 管理関係の事業 | v |

II 調査・研究報告

| | |
|----------------|-------------------------------------|
| 新島裏が写生した埴輪 | (1～32 p)辰巳和弘 坂 靖 広瀬時習 辻川徹朗 |
| 歴史資料館所蔵の縄文時代土偶 | (33～44 p)小島孝修 |

2004 年 度 の 運 営

(1) 組 織

| | |
|---------|-----------------|
| 館 長 | 黒 木 保 博 |
| 教 授 | 辰 巳 和 弘 |
| 助 教 授 | 鋤 柄 俊 夫 |
| 専 任 講 師 | 若 林 邦 彦 |
| 事 務 長 | 渡 辺 孝 義 |
| 係 長 | 堀 川 眞 子 |
| 非常勤嘱託職員 | 松 田 度・渡 部 悦 子 |
| 契 約 職 員 | 浦 壁 万里子・松 本 裕 世 |

(2) 運 営 委 員 会 委 員

| | | |
|----|---------|---------------------|
| 委員 | 黒 木 保 博 | 歴史資料館長 |
| 〃 | 田 端 信 廣 | 教務部長 |
| 〃 | 西 村 卓 | 人文科学研究所長(9月30日まで) |
| 〃 | 伊 藤 彌 彦 | 社史資料センター所長(10月1日から) |
| 〃 | 白 水 勝 | 総務部長 |
| 〃 | 井 上 一 稔 | 文学部(博物館学芸員課程科目担当) |
| 〃 | 西 岡 直 樹 | 文学部(文化史関係科目担当) |
| 〃 | 松 藤 和 人 | 文学部(考古学関係科目担当) |
| 〃 | 辰 巳 和 弘 | 歴史資料館 |
| 〃 | 鋤 柄 俊 夫 | 歴史資料館 |
| 〃 | 若 林 邦 彦 | 歴史資料館(9月1日から) |
| 〃 | 渡 辺 孝 義 | 歴史資料館事務長 |

(3) 運 営 委 員 会 の 開 催

第1回 2004年5月27日(木)

第2回 2004年10月27日(水)

(4) 学芸関係の事業

[A] 展示室の公開

- a. 春学期 2004年4月1日(木)～9月29日(水)の月～金曜日
- b. 秋学期 2004年9月30日(木)～2005年3月31日(木)の月～金曜日
- c. 休館日 土曜日、春期休業期間を除く大学の定める休業日
臨時開館日 京田辺校地オープンキャンパス開催日(7月25日)
ホームカミングデー開催日(11月2日)ほか
キャンパス団体見学の4日間。
- d. 年間総公開日数…199日
- e. 月別入館者数

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|------|
| 学内 | 83 | 128 | 161 | 20 | 0 | 0 | 18 | 11 | 59 | 74 | 3 | 0 | 557 |
| 学外 | 25 | 194 | 364 | 547 | 50 | 481 | 467 | 358 | 60 | 57 | 28 | 144 | 2775 |
| 合計 | 108 | 322 | 525 | 567 | 50 | 481 | 485 | 369 | 119 | 131 | 31 | 144 | 3332 |

- f. 授業利用 大学、女子大、国際中高が講義や授業で利用。要請に応じて解説・案内。
- g. オリジナルホームページアクセス数 年間 361064件(月平均 30089件)

[B] 公開講座の開催(窓口…京田辺校地教務事務室)

- a. テーマ…考古学に歴史を読む
「古代と中世の都市をめぐって－室町殿跡の発掘調査によせて－」
- b. 内容
 - 5月11日(火) 森浩一(同志社大学名誉教授)
「山城学と古代の土木技術」
 - 5月25日(火) 門田誠一(仏教大学助教授)
「東アジアにおける土木技術の諸相」
 - 6月8日(火) 小山田宏一(大阪府立弥生文化博物館学芸員)
「狭山池と古代日本の土木技術」
 - 10月12日(火) 和田萃(京都教育大学教授)
「宇治橋をめぐる人々」
 - 10月19日(火) 武藤直(同志社大学文学部教授)
「七条内浜と一口(いもあらい)－淀川水系の港－」
 - 11月2日(火) 森浩一(同志社大学名誉教授)：和田萃(京都教育大学教授)
「対論 土木技術で読む地域学」
- c. 受講応募者数…840人 受講受付者数…400人

[C] 博物館実習生の受入れと指導（実習期間と実習生数）

| | | |
|-----|---------------|----|
| 第1期 | 8月9日～8月12日 | 7名 |
| 第2期 | 8月23日～8月26日 | 8名 |
| 第3期 | 9月6日～9月9日 | 7名 |
| 第4期 | 9月24日～9月28日 | 6名 |
| 第5期 | 11月22日～11月28日 | 6名 |

[D] 資料の収集および整理

a. 購入

- ①「山城国地割図」一 1点
- ②「山城国地割図」二 1点

b. 館蔵品データベースの作成

- ・同志社大学校地学術調査委員会調査資料
- ・文学部調査資料
- ・同志社大学遺跡地理情報システム（GIS）の公開
- ・館蔵図書資料の同志社大学蔵書検索システムDoorsへの登録
図書および図書扱い逐刊 1870冊（登録蔵書総数8997冊）
逐次刊行物 424タイトル（登録総タイトル数480）

c. 大学ホームページの更新

[E] 出版物の刊行等

- a. 『同志社大学歴史資料館 館報』第7号（2003年度）（600部）
- b. 『学生会館・寒梅館地点発掘調査報告書一室町殿と近世西立売町の調査一』（600部）
- c. カラーリーフレット増刷（5000部）
- d. 公開講座資料の編集

[F] 収蔵資料の貸出

貸出先／貸出資料／点数／貸出期間／参考

- ① 池田市立歴史民俗資料館／西山2号墳出土資料（三角縁四神四獣鏡・四獣形鏡・石釧・銅鏃）
／各1点 計4点／2004年10月6日～12月15日／池田市立歴史民俗資料館特別展「出みては百
兵を辟け—古墳時代 対国外的軍事組織の編成一」
- ② 尼崎市立田能資料館／観音寺山遺跡出土資料（器台4点・投弾4点・鉄製刀子1点・鉄鏃
3点・棒状鉄製品1点）、田辺天神山遺跡出土資料（鉄製刀子1点・鉄鏃4点・鉄製農工具3
点・銅釧1点）／合計22点／2004年8月24日～11月4日／尼崎市立田能資料館特別展「変わり

ゆく弥生社会」

[G] 写真掲載許可並びに貸出

申請者／許可資料／点数／掲載物

- ① 山川出版社／井辺八幡山古墳出土 角杯を背負う武人埴輪／1点／『歴博フォーラム 王の墓と奉仕する人々』
- ② ヴュー企画／観音寺山遺跡全景および出土品（石包丁一括・石鏃一括）、馬の山古墳出土埴輪1点／ビデオ『森浩一が語る日本の古代』の解説冊子『遺跡めぐりガイド』
- ③ 東邦プランニング／田辺天神山遺跡出土鋤鍬状鉄製品／1点／『社会科資料6年』（株）新学社発行
- ④ セレブロ／四ツ池遺跡・観音寺山遺跡他の出土品および筒城宮伝承地／59点／DVD『森浩一が語る日本の古代』
- ⑤ 小学館／観音寺山遺跡出土投弾・円礫／23点／『考古資料大観』第10巻
- ⑥ 清文堂／新町北別館地点SD001出土瓦器釜／1点／『日本海域歴史大系』シリーズ「中世西日本海域の都市と館」

[H] 資料の利用許可

熟覧 2件 実測 4件 写真撮影 8件

[I] 資料の借用

- a. 下司古墳群出土遺物（京都府立山城郷土資料館、通年）
 - 1号墳出土 陶棺片 24点、銅鋌 5点。
 - 2号墳出土 須恵器 6点、土師器 3点、瓦器 1点、環座金具 4点。
- b. 井辺八幡山古墳出土遺物（和歌山市教育委員会、通年）

一括 但し、男子立像埴輪（力士埴輪1点）を除く
- c. 縄文時代土偶（東京大学総合研究博物館 2004年12月16日～2005年3月31日）

草刈場貝塚・福田貝塚・神生貝塚・立木貝塚・椎塚貝塚出土品各1点

(5) 校地学術調査

- ・2004年4月19日～2004年7月23日・8月23～9月10日
同志社大学臨光館地点の発掘調査（近衛殿桜御所跡）
- ・2004年7月2日～2004年8月13日・9月7日～9月24日
同志社大学北志寮地点の発掘調査

- 2004年9月6日～2004年9月24日
同志社小学校建設予定地発掘調査第1期
- 2004年12月6日～2005年2月24日
同志社小学校予定地発掘調査第2期
- 2004年10月20日
ボート部艇庫増築にともなう立ち会い調査（野畑遺跡）

（6）管理関係の事業

[A] 保存遺跡の整備と管理

- a. 田辺天神山遺跡・下司古墳群・都谷中世居館群の雑木伐採。

[B] 施設・設備の管理および庶務

- a. 資料整理室の燻蒸と滅菌 2004年10月8日